

「議員」の評価結果(個人票)

評価の分類：○＝「ほぼ満足」
 △＝「努力が必要」
 ▲＝「さらに努力が必要」
 評価期間：令和7年4月～令和8年3月

藤山 大

50歳 議員歴12年 19項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	△	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	○	▲
財政	災害の備えと整備（避難路・道路等）	○	▲
	優先順位を持った財政運営の推進	△	△
経済	町立診療所運営健全経営推進	△	▲
	一次産業のさらなる発展への提言	○	△
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	○	△
福祉	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	△
	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	○
教育	福島商業高等学校の魅力化	○	○
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	○	○
	福島の宝である子供のための遊具点検・整備・補修	○	○
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	○	△
	松前半島高規格道路整備の推進	○	○
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	○	△
SNSの活用（PR等）	○	○	

杉村 志朗

76歳 議員歴26年 11項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の活動推進	△	△
	防災対策（避難路の確保）	△	△
財政	子育て環境の改善努力	○	○
	養殖アワビ飼育の安定営業	△	△
経済	町立診療所の早期黒字化の努力	▲	▲
	農林水産業の担い手支援	△	△
福祉	高齢者への財政支援	△	△
	高齢者人口に対する環境整備	△	△
教育	少子化による不安の解消と生徒確保の努力	△	△
	小中高一貫性に向けた努力推進	△	▲
その他	周辺地域よりも多い観光客誘致に期待	△	△

佐藤 孝男

78歳 議員歴30年 13項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	○	△
	大型公共施設の健全な運営を注視	○	△
財政	各基金の健全な活用	○	○
	ほだ木確保のため町有林の調査と作業道の整備	△	△
	陸上養殖アワビの生産拡大に向けた取り組みの推進と、健全な運営を注視	○	○
福祉	一次産業の振興と新規就業者の育成	○	△
	町立診療所健全運営を注視	○	○
教育	家庭ゴミ減量化の取り組み推進	○	△
	青少年交流センターの健全な運営を注視	○	○
その他	学校給食での地場産物の利用促進	○	△
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動を推進	○	○
	防災道路の早期実現に向けた取り組み推進	△	△
各種行事の積極的な参加	○	○	



■ 小 鹿 昭 義

72歳 議員歴5年 16項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネルの構想実現	○	△
	ヒグマなどの鳥獣被害対策、空家対策への提言	○	△
	津波対策・防災対策の提言	○	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	△	▲
	経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言	△	△
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進	△	△
	物価高による、景気対策の提言	○	△
	新卒者や町内外の求職者雇用の場を確保するため、企業誘致を推進	△	▲
福祉	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	△	△
	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応えていく仕組みの確立化を推進	△	▲
	お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進	△	△
教育	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	△
	小・中学生へパソコン・タブレット端末を使った英会話オンライン（インターネット）授業など、資格取得やグローバル化に向けた学習の提言	△	△
	グローバル化に向けた低学年向けへのやさしい英会話教育の場の提言	△	▲
その他	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
	町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取り組む	○	○



■ 木 村 隆

45歳 議員歴18年 13項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	新半島振興法に伴う防災政策のあり方	△	▲
	津波防災政策の提言	○	○
	解体予定の公共施設のあり方	○	△
財政	養殖あわび施策のこれから	○	△
	雇用の場の創出	▲	▲
	脱炭素政策のあり方	○	△
福祉	保育園改修の注視	○	△
教育	高校存続のこれから	△	△
	新しいIpadの利活用	△	△
	義務教育学校への走り出し	○	○
その他	第2青函トンネル構想の推進	△	△
	松前半島防災道路（福島～白神）の注視	△	△
	広域議員として消防、衛生への政策質問	△	△

■ 平 沼 昌 平

69歳 議員歴20年 18項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	町内のDX環境の整備と施設整備について提言	▲	▲
	海溝型地震に向けての津波対策と防災意識向上と自助・互助・共助・公助の在り方の提言	△	△
	物価高騰に対する町民サービスの充実について提言	△	○
財政	財政健全化を柱とした計画的なインフラ整備について提言	○	○
	出産費用の無償化と出産後1年間の生活費補助の提言	△	▲
	農林水産業の担い手確保と雇用環境充実に向けた提言	▲	▲
経済	将来を見据えた養殖昆布作業省力化に向けた提言	▲	▲
	気候変動に伴う新たな産業の創出と模索について提言	▲	△
	物価高騰に対する福祉灯油券の配布と拡充について提言	△	△
福祉	ゴミ減量化と資源ゴミの町民の理解と意識の向上に努める	△	△
	高齢者住宅の拡充とコンパクトシティの在り方について提言	○	△
	町関連各同系列の団体の集約と会議内容の集約等提言	○	▲
教育	高校卒業生の町内就職の財政支援と環境整備の提言	△	▲
	中・高校生に対するの議会との接点と交流促進の提言	○	○
	議会議員の成り手対策と定数の在り方について	○	▲
その他	議会活動に対する町民理解度向上のため、懇談の機会を拡充する	○	△
	議会だよりの充実と町民に対する積極的な議会活動の周知	○	△
	議会開催時の参画者に対する声掛けと参加者の拡充	○	○

熊野茂夫

75歳 議員歴10年 9項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	地域生活環境整備への提言をいたします。	○	○
	地域防災計画、津波避難計画をすすめます。	○	○
財政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします。	○	○
経済	水産業の発展と漁家経営安定のための提言をいたします。	△	△
	農林業発展への提言をいたします。	○	△
福祉	施設介護・訪問介護サービス安定のための提言をいたします。	○	○
	社会福祉協議会経営安定のための活動をいたします。	△	△
教育	こども園、小中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします。	○	○
	福島商業高等学校魅力化と存続のための活動をいたします。	○	○

平野隆雄

76歳 議員歴29年 15項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現推進	○	△
財政	ふるさと応援基金の有効活用の提言	○	○
	町立診療所の健全経営の実現	△	△
	旧改善センター、旧吉岡支所等の早期解体の実現	△	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	○
	スルメ以外の商品開発推進	△	△
	エゾアワビの稚貝確保に向けた施策を全力で推進	△	△
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	○	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進へ向けた提言	○	○
教育	少子化の中の教育行政推進	○	○
	縄文土器によるまちづくり提言	△	△
	青少年交流センターを活用した取り組みへの提言	○	△
その他	吉岡、荒谷新ルート防災道路の推進	○	△
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進	○	△
	両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたPRの推進	△	△

溝部幸基

77歳 議員歴44年 34項目

分野	具体的な目標項目	評価		
		取組	成果	
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進(各種計画の提言・検証)	△	▲	
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査	▲	▲	
	行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託・時間差出勤・研修等)	▲	▲	
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等:危機管理に関する研修)	△	▲	
	過疎自治体における政策推進のあり方(住宅セーフティネット、居住支援)	△	▲	
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	△	▲	
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△	
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究	○	△	
	財政	財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価充実:基金の有効活用)	△	△
		退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
各団体等への補助金、事業助成金等の在り方		▲	▲	
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	▲	▲	
	異業種連携による「福島ブランド」の開発(ブランド化システムの再検討)	▲	▲	
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	▲	▲	
	産業団体と課題に取組む産業公团的仕組みづくりの調査研修	▲	▲	
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	▲	▲	
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査	▲	▲	
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	△	▲	
	公立診療所の在り方に関する調査研修	▲	▲	
	在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割・ケアラー支援制度等)	△	▲	
	労働者協同組合に関する調査研究(活動事例、行政連携等)	▲	▲	
	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修	△	▲	
教育	小中学校一貫教育、コミュニティスクールに関する調査研修	▲	△	
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△	
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)	▲	▲	
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動推進	▲	▲	
	食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)	△	△	
その他	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現(議会基本条例の周知)	○	△	
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	○	△	
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△	
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△	
	視察の積極的な受け入れ(岩手県滝沢市・福島県大熊町・白老町・厚岸町)	○	○	
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△	
	各種行事への積極的な参加	○	○	